

震災ボランティア体験記

我妻榮記念館館長 上 村 勘 二



米沢有為会
米沢支部だより

第 23 号

平成23年 8 月 1 日

発行者

(社)米沢有為会米沢支部
支部長 安部三十郎

米沢市金池5-2-25
☎ 0238-22-5111

「是非行きたい」と思っていた震災ボランティアに七月九日(土)参加した。朝六時、山工学部正門に山大生二七名・教職員四名、米短生五名、社会人四〇名の合計七六名のチーム米沢が集まった。最高齢者は七五歳、女性が約半数、老若男女の混成チームである。

東松島市ボランティア受付で、牛網地区の側溝泥上げ作業との指示を受ける。周囲は茶色に変色した木々、壊れたブロック塀と作業小屋、補修中の住宅が目立つ。

炎天下、油・ヘドロと砂が混在して臭う泥を上げるのは、長袖・長ズボン・長ゴム手袋・帽子に防

塵マスク・ゴーグルを付けた重装備で疲れる。一呼吸していると「交代しましょう」と若者から声がかかる。二十分作業・十分休憩で続けた。昼食後に被災農家の石森さんから震災のお話を伺う。「津波警報発令を触れても『津波は来ない』と思いついて避難を考えなかった人が多く、市で千人亡くなった。今、油と重化学物質を含む畑の山を山砂と交換している。年内に地区で共同経営している田の六十町歩の瓦礫を撤去したい。人出がいくらでも必要であり、本来私達がすべき側溝掃除を皆様からボランティアで手伝って頂き感謝します。」

予定の二百mの泥上げ作業を終了後、さらに上流。今度はガラスや瓦礫混じりの深さ三十cmの泥上げを終了時間まで行う。

学生の反省会では「一般の方と共同作業ができて良かった」「ボランティアの必要性を実感した」。そして、全員が「また



参加したい」と話した。チーム米沢の震災ボランティアは五月から七月まで毎土曜日の十回実施し、約四百名(内三百名が学生)が参加した。被災者は生計の糧が無い中、後片付けで精一杯の状況であり、ボランティアが期待されている。特に若い学生が意欲的に取組んでいる姿は頼もしく、この取組みが被災された方々に生きる元氣を与え、復興を確実にする途となろう。これからも被災者とボランティア隊への支援を続けたいものである。

教育功労者など表彰

米沢支部総会を開催

特別顕彰

(注)米沢有為会米沢支部総会は六月十一日(土)午後三時から、ホテルサンルート米沢で開催。平成二十二年庶務報告、収支決算を承認、平成二十三年事業計画(案)、収支予算(案)も可決しました。役員改選では二十三年、二十四年度の役員構成が承認され、そのあと公益法人化への動向や東日本大震災による被害状況について報告がありました。引き続き表彰式が行われ、次の方々を教育功労、特別顕彰で表彰しました。

教育功労

米沢市立第三中学校国語科

▼代表 中村圭子さん

(野村多美子さん、鈴木茂夫さん)

米沢市立第三中学校に勤務する国語科の教員であり、生徒の作文、読書感想文やエッセイ等の指導にあたり、全国入賞3点を始め、すぐれた成果を上げている。特に、平成22年度の我妻榮児童文化賞及び市児童文化奨励賞を計3名が受賞するにいたった。日常の授業の指導を始め、本市の国語力の向上に大きく寄与し、県内外に大きく発信した功績は大なるものである。

高橋治輝さん

県小学生陸上競技大会
男子走り幅跳び 優勝
第26回全国小学生陸上競技交流大会
男子走り幅跳び 20位

町田佑介さん

県選抜学童水泳記録会
4年以下 50m平泳ぎ 優勝

熊谷哲志さん

米沢市小学生水泳記録会
オープン男子50mバタフライ優勝
大会新記録

県選抜学童水泳記録会
5・6年50mバタフライ 優勝

西部小リレーチーム(水泳)

熊谷哲志さん・加藤圭一郎さん
・早坂 優さん・長沼 時さん
米沢市小学生水泳記録会
男子200mリレー 優勝
県選抜学童水泳記録会
男子200mリレー 優勝

鈴木大河さん

第47回東北中学校スキー競技大会
回転競技 2位
第48回全国中学校スキー大会
回転競技 6位(入賞)

安部由貴さん・安部優衣子さん

東北中学校バドミントン競技大会
女子ダブルス 3位

梅津春香さん

第31回東北中学校陸上競技大会
1年女子1500m 2位

田村美佐保さん

第27回伝統的工芸品月間
作文コンクール全国賞
(財)伝統的工芸品産業振興協会
会長賞

神尾英花さん

小さな親切作文コンクール
全国審査 優秀賞
我妻榮児童文化奨励賞 受賞

田中 瑛さん

我妻榮児童文化賞 受賞
国際協力中学生・高校生
エッセイコンテスト2010
審査員特別賞 受賞

情野匡紀さん

第47回東北中学校スキー競技大会
スペシャルジャンプ 4位
ノルディックコンバインド 4位
JOCジュニアオリンピックカップ2011
全日本ジュニアスキー選手権大会
出場

長沼大智さん

第31回東北中学校陸上競技大会
男子2・3年1500m 優勝
第41回JOCジュニアオリンピック
陸上競技大会
少年男子B1500m 3位

中澤歩里さん

山形県総合スキー大会
スラローム 優勝
第47回東北中学校スキー競技大会
スラローム 3位

近田 隼人さん

第47回東北中学校スキー競技大会
スペシャルジャンプ 12位
ノルディックコンバインド 5位
第48回全国中学校スキー競技大会 出場

高橋弘武さん

第29回全国高等学校
ライフル射撃競技選抜大会
BRS 60JM 6位

青木涼平さん

第29回全国高等学校
ライフル射撃競技選抜大会
BRS 60JM 8位

高橋玲那さん

第29回全国高等学校
ライフル射撃競技選抜大会
BRS 40JM 8位
千葉国体出場

県立南陽高等学校男子ソフトボール部

第36回東北高等学校
男子ソフトボール選手権大会 優勝
第5回東北高等学校
男子ソフトボール選抜大会 3位
第36回東北総合体育大会
ソフトボール少年男子 準優勝

新会員のご紹介

(平成23年1月20日、5月17日)

小松 春男
河内 昭佐
高橋 甚市
横澤 憲治

米沢有為会米沢支部総会



平成22年度 社団法人米沢有為会米沢支部会計決算書

自 平成22年 4月1日
至 平成23年 3月31日

〔収入の部〕

項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	比較増減 ②-①	摘 要
繰 越 金	268,235	263,893	△ 4,342	
会 費	2,396,000	2,131,000	△265,000	通常会員会費@3,000×495人=1,484,000 特別会員会費@7,000× 71人= 497,000 賛助会員会費@10,000×15人= 150,000
事 業 収 入	320,000	248,000	△ 72,000	支部総会懇親会会費 @4,000×27名 会員交流いも煮会費@4,000×35名
諸 収 入	765	118	△ 647	預金利子等
〔収入合計〕	2,985,000	2,643,011	△341,989	

〔支出の部〕

項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	比較増減 ②-①	摘 要
1 本 部 費	1,198,000	1,065,500	△132,500	会費納付金 2,131,000×1/2
2 事 業 費	735,000	550,993	△184,007	
教育奨励費	165,000	105,090	△ 59,910	教育功労・特別顕彰表彰状及び記念品等
産業振興費	70,000	0	△ 70,000	産業功労表彰状及び記念品
講演会・交流会費	350,000	243,143	△106,857	講師謝礼及び交流いも煮会費
支部だより費	150,000	202,760	52,760	支部だより印刷、郵送料
3 管 理 費	885,000	861,557	△ 23,443	
事 務 費	180,000	180,000	0	常務理事報酬
会 議 費	10,000	0	△ 10,000	諸会議費
総 会 費	250,000	282,685	32,685	総会案内郵送料、懇親会費等
通信運搬費	200,000	195,975	△ 4,025	理事会・会報・会誌等送料
印 刷 費	130,000	119,608	△ 10,392	浄書印刷、封筒印刷等
諸 手 数 料	55,000	59,900	4,900	郵便振替手数料(会費振込分)等
消耗什器備品費	30,000	17,026	△ 12,974	ゼロックス代等
交 通 費	20,000	0	△ 20,000	
諸 雑 費	10,000	6,363	△ 3,637	弔電代
4 予 備 費	30,000	0	△ 30,000	
5 次期繰越金	137,000	164,961	27,961	
〔支出合計〕	2,985,000	2,643,011	△341,989	

平成23年度 社団法人米沢有為会米沢支部予算

自 平成23年 4月1日
至 平成24年 3月31日

〔収入の部〕

項 目	本年度予算額 ①	前年度予算額 ②	比較増減 ①-②	摘 要
繰 越 金	164,961	268,235	△103,274	
会 費	2,211,000	2,396,000	△185,000	通常会員会費@3,000×540人=1,620,000 特別会員会費@7,000× 63人= 441,000 賛助会員会費@10,000×15人= 150,000
事 業 収 入	0	320,000	△320,000	
諸 収 入	1,039	765	274	預金利子等
〔収入合計〕	2,377,000	2,985,000	△608,000	

〔支出の部〕

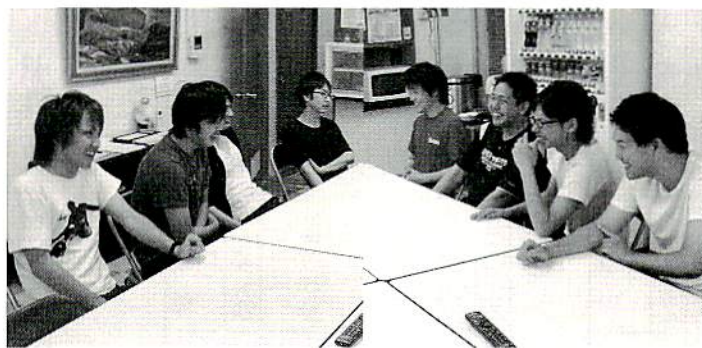
項 目	本年度予算額 ①	前年度予算額 ②	比較増減 ①-②	摘 要
1 本 部 費	1,105,500	1,198,000	△ 92,500	会費納付金 2,211,000×1/2
2 事 業 費	400,000	735,000	△335,000	
教育奨励費	120,000	165,000	△ 45,000	教育功労・特別顕彰表彰状及び記念品等
産業振興費	30,000	70,000	△ 40,000	産業功労表彰状及び記念品
講演会・交流会費	100,000	350,000	△250,000	講師謝礼及び案内印刷、郵送料等
支部だより費	150,000	150,000	0	支部だより発行(2回)印刷、送料
3 管 理 費	735,000	885,000	△150,000	
事 務 費	180,000	180,000	0	常務理事報酬
会 議 費	5,000	10,000	△ 5,000	諸会議費
総 会 費	140,000	250,000	△110,000	総会案内、資料案内、郵送料等
通信運搬費	200,000	200,000	0	理事会・会報・会誌等送料
印 刷 費	120,000	130,000	△ 10,000	案内葉書・封筒印刷等
諸 手 数 料	55,000	55,000	0	郵便振替手数料(会費振込分)等
消耗什器備品費	20,000	30,000	△ 10,000	ゼロックス代等
交 通 費	10,000	20,000	△ 10,000	
諸 雑 費	5,000	10,000	△ 5,000	
4 予 備 費	10,000	30,000	△ 20,000	
5 次期繰越金	126,500	137,000	△ 15,000	
〔支出合計〕	2,377,000	2,985,000	△608,000	

有為会寮のご紹介

東京興譲館寮

舎生代表のコメント

現在寮長を務めている菊地です。東京興譲館寮は志の高い関東圏の様々な大学の学生が集い、切磋琢磨しながら楽しい寮生活を過ごしています。関東圏の様々な大学の情報交換や、いつでも気軽に寮生と交遊できることは、学生生活を必ず豊かにすると思います。寮費も安く、学校



寮母のコメント

寮母の三浦です。私はこの寮の魅力は絆だと思います。寮生には互いに助け合う姿勢を忘れないでほしいと思います。



から帰れば寮母さんの温かい料理が迎える生活は、一人暮らしでは決して味わえない充実した生活を約束します。東京興譲館寮で共に有意義な時間を過ごす仲間が増えることを心よりお待ちしております。

仙台興譲館寮

舎生代表のコメント

仙台興譲館では、仙台の大学や専門学校に在学している山形県出身の学生が共同生活を送っています。興譲館寮には、朝晩の食事が出る、寮費が安い、といった多くの魅力があります。しかし一番の魅力は、毎日共に生活をおくることで、かけがえのない仲間が出来ることだと感

寮母のコメント

それぞれ違うご家庭で育った皆さんが同じ寮生として寝食を共にすることにより友情が芽生え深い絆が結ばれるようです。



～ 活躍する会員紹介 ～ ⑪

福崎真知子 さん



(Q1) 女性社長と言う事ですが、会社のプロフィールをお聞かせ下さい。

昭和63年に山形県立高等専門学校の電子工学科に入学し、パソコンに関する基礎を習いました。卒業後、平成元年7月にジーエスデザイン株式会社を設立し、女性のためのスタッフの会社としてスタートしました。CAD(設計支援ソフト)を導入し、手書き設計図面をトレースすることを主業務として始めましたが、商業デザインの要望が高まってきたので、工業デザイン(取扱説明書作成をメイン業務)と商業デザインの業務を展開してきました。最近では学園都市推進協議会発行の「地域密着型情報新聞 学生向け ザワワ」がこの秋号から9年目を迎えることとなり、また兄弟版の「生活便利手帳」も学生向けとして3号を発行済み、今後は大震災の避難者の方向けに「生活便利手帳」を発行する運びとなりました。更に米沢ゆかりの方向けに、「米沢満載」というお取り寄せ情報や食事処、宿泊情報などを掲載している冊子もこの秋に第3号を発行する予定となっています。またウェブサイトの制作として「よねざわネット」という地域ポータルサイト(運営:米沢市)の制作、運営協力、米沢の産業界の5業種の企業紹介冊子、及び、ビジネスマッチングサイトもこの度完成いたしました。米沢の産業界の活性化のために今後もいろいろな企画を継続して展開してまいります。

(Q2) (社)米沢法人会女性部会会長と聞いています

が、どのような活動をしているのですか?

女性部会は平成10年1月に設立され平成18年より第三代部会長を仰せつかっております。女性部会はスローガンとして「仕事に情熱を、家庭に愛を、心に錦を!」を掲げ、自己研鑽に励み会員の活性化のために学びの姿勢で事業を行っています。昨年は東京都渋谷法人会女性部会と4年ごしの交流が実り、姉妹提携を果たしました。秋には移動セミナーin東京を企画し、姉妹交流会を実施、(株)モスフードの櫻田社長の講演会、また米沢出身の伊藤忠太氏の建造物を巡ると題し、「明治神宮」「築地本願寺」を見学、他に盛りだくさんのコースを巡り研鑽を積みました。また社会貢献事業として小学生向け「租税教室」や「税の絵葉書コンクール」の実施、福祉施設に「タオルプレゼント」事業なども展開し公益性の高い活動も行っています。今年も、「移動セミナーin酒田」を7月に実施、平田牧場の新田会長の講話をお聞きし酒田の町を視察するなど学んできました。

(Q3) 米沢有為会活動に積極的に協力いただいておりますが、あなたにとって有為会とはどんな存在でしょうか?

5～6年前、当社に有為会の入会のご案内しおりのご注文をいただきました。それまで有為会について事業内容など詳しく知らなかったのですが、しおり制作をきっかけに活動内容を知り感動いたしました。その後総会の席で、地域で活躍している方々に対する表彰式に出席し表彰を受ける方の頑張っている内容などを知ることにより、米沢に対する愛郷心が強くなっていきました。米沢を良くしようとする方々、米沢をこよなく愛する方々の集まりが有為会であり、有為会の会員であることに誇りをもって、入会をお勧めできる会員でありたいと思っています。今後も同級生に入会をお勧めし、会の発展、継続に少しでもお役にたてたらと思っています。